

教育課程表 日本語学科

- 1 本学科の授業は、1単位時間を45分とし、1日4時間、1週当たり20時間とする。
- 2 1学期の授業週数は20週とし、コース毎の総授業日数及び総授業時数は次の通りとする。

○進学1年コース

参照枠	レベル	学習期間	科目	内容	科目別単位時間
A2	初中級	3か月	総合日本語	場面、状況での課題を達成するためにはどう言えばよいかを考え、モデル会話を聞き必然性のある文型や語彙を学ぶ。その後、場面や状況を通じて練習することで、話す力を身につける。	120
			漢字	「できる日本語」に準拠した教材「漢字たまご」で学習。課の新出漢字を学習。学習後練習問題で読み書きの力をつける。	20
			試験対策	音声を注意深く聞き、まとまりで理解する。スクリプトを見ながら文字でも理解し、シャドーイングをすることで日本人の話す日本語の発音とスピードになれる。(聴解)	40
			日本事情 異文化理解	災害、緊急事態のときや困ったときにどこへアクセスしたらいいかを教え、生活者として困る状況を減らしていくような活動をする。質問のバリエーションを増やす。	20
B1.1	中級Ⅰ	3か月	総合日本語	どういう場面、状況か理解した後、自分の現在持っている日本語の知識で課題に取り組む。その後それを達成するのに必要な文型・語彙を新しく学習する。新しい文型・語彙を十分練習した後、最後にタスクに再度取り組む。	120
			漢字	「できる日本語」に準拠した教材「漢字たまご」で学習。課の新出漢字を学習。学習後練習問題で読み書きの力をつける。また漢字語彙と和語の言い換え練習や既習漢字を含めた漢字を整理する機会を多く作る。	20
			試験対策	文章の中での接続詞の働き、起承転結などの流れを意識しながらすすめる。段落ごとでの要点をまとめる。類義語、対義語も紹介する。語彙を増やし言い換えができるようにする(読解)	40
			日本事情 異文化理解	日本の年中行事を紹介するとともに、学生自身の国についても相違点をあげながら発表してもらう。また、学生同士で質疑応答をする。この地域の特色も紹介する。	20
B1.2	中級Ⅱ	3か月	総合日本語	課のまとめとしてグループワークで成果物を作成したり、その成果を発表したり、ピンターセッションやロールプレイを実施したりして、総合的な日本語運用力の向上を図る。	120
			漢字	「できる日本語」に準拠した教材「漢字たまご」で学習。課の新出漢字を学習。学習後練習問題で読み書きの力をつける。また漢字語彙と和語の言い換え練習や既習漢字を含めた漢字を整理する機会を多く作る。	40
			試験対策	会話のなかでの終助詞や、あいづちの意味をとらえる。スクリプトを見て細かい内容も理解する。シャドーイングを通して、語彙や表現を増やす。(聴解)	40
B2.1	中上級	3か月	総合日本語	スピーチの活動を行う。グループもしくはペアで発表の練習をした後で、クラス全員の前で発表する。聞き手は話し手のスピーチの感想や、さらに内容を深堀する質問をする。	120
			漢字	「できる日本語」に準拠した教材「漢字たまご」で学習。課の新出漢字を学習。学習後練習問題で読み書きの力をつける。また漢字語彙と和語の言い換え練習や既習漢字を含めた漢字を整理する機会を多く作る。	40
			試験対策	要点をまとめる。新出単語に関係する語彙も増やし定着させる。出題形式に慣れ、早く確実に読めるようにする。(読解)	20
			日本事情 異文化理解	1回または2回で完結するプロジェクトワークを実施。テーマは「地域の観光案内をしよう」「リサイクルを考えよう」「卒業文集を作ろう」「留学生の生活ハンドブックを作ろう」など。	20
合計					800